

「白山白ねぎ」の産地拡大に取り組んでいます

石川農林総合事務所



市場関係者との意見交換の様子



先進地での視察の様子

石川農林総合事務所では、消費者・需要者ニーズに応える競争力のある園芸産地づくりを推進するため、平成21年度から白山市、JA松任、JA白山と連携して「白山白ねぎ」の産地育成と生産拡大に取り組んできました。この結果、平成23年度の生産者数は17戸（平成21年は4戸）、栽培面積は425アール（同80アール）、出荷量は35t（同4t）、売り上げは908万円（同125万円）に拡大しました。

産地の育成を進めるため、まず重点的に取り組んだのは、新規生産者の確保でした。近年、白山市平坦部では大規模稲作経営体や集落営農組織の法人化が進んでおり、法人雇用者の年間就業が課題となっていました。このため当事務所では、座談会やJA広報誌を通じて、これら法人をはじめとした稲作農家を対象に、①水稻栽培の農繁期と重ならず、②初心者でも栽培が容易で、③収穫期間が長く出荷日の調整が可能な白ねぎの導入を推進しました。

次に、既存生産者の1戸当たりの規模拡大を進めるため、露地栽培に加え、収穫時期の分散を目的にハウスねぎの実証ほを設置し、個別に巡回して技術指導を行いました。また「白山白ねぎ」の商品の競争力を高めるため、市場担当者と生産者及び関係機関が意見交換を行う場を出荷時期に合わせて設け、品質や出荷時の留意点を確認しました。さらに、他県の先進地において適切な集荷体制や効率的な出荷調製作業について研修を行いました。

今後は、価格が安定している夏秋ねぎや作業分散を目的にハウスねぎなど作型別の適期作業の技術支援を行い、さらなる産地拡大を図ります。

問い合わせ先：石川農林総合事務所農業振興部
(076-276-0371)